



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所二ユース

みどり清流

第117号

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平7-6-72

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進 12月発行

2011年

しん 赤旗
ぶん

日刊紙1ヶ月 3400円

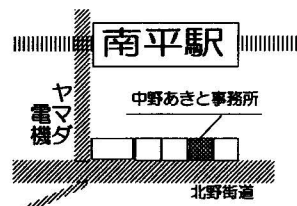
日曜版1ヶ月 800円

お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



日野自動車工場移転問題で

「市民の会」が日野市に要請

日野自動車の移転問題で、同問題を考える市民の会（市民団体、労働組合、法律事務所で構成）は11月29日、日野市に対し要請を行いました。日野自動車は今年1月、本社工場を茨城県古河市に建設する新工場に2012年から20年にかけて段階的に移転することを明らかにしました。「市民の会」では10月7日、シンポジウムを開催。この問題は従業員だけでなく家族、関連企業、商店や飲食業、学校など、日野市政や市民に対し広範な影響が起ることが懸念されるとして、日野市と日野自動車に要請行動をおこすことを提起し、参加者によって確認されました。

日野市との要請で「市民の会」は、①移転を前提とせず日野自動車と親会社のトヨタ自動車に、企業としての社会的責任を果たすことを基本に対応すること。
②移転の影響と市の対応、協議の内容、市の基本姿勢を市民に説明すること。
③日野自動車に市民への説明・広報などを行うようはたらきかけることなどを求めました。

「市民の会」によると日野市は、移転を前提にして日野自動車とこ

保育園・幼稚園・小中学校・学童ク・児童館・公園（8か所）など

ホットスポットの調査、日野市でも

放射線量の測定で、日野市がようやく重い腰をあげました。比較的線量が高いと思われる側溝などの、いわゆるホットスポットも含め、市内の小中学校、保育園、幼稚園、学童クラブ、児童館など、子ども関連施設98か所を対象に、あらためて放射線量を測定することを決めました。

測定は11月30日から12月22日までの期間で実施し、毎時0.23マイクロシーベルト以上の数値が出た場合は、市が簡易除染を行います。

市では8月に1回、子ども関連施設の校庭、園庭、砂場などで線量測定を行い、結果は健康に影響をあたえる値ではないと発表し、保護者や議会から出された「ホットスポットと思われるところを含めてきめ細やかな測定を行うべき」という要求や指摘には背を向けてきました。しかし、多摩地域の近隣自治体が行った詳細測定でもホットスポットの存在が明らかになり、市民・保護者の不安、疑問の声が強まる中、今回の対応となりました。

なお、日本共産党市議団もこの間、独自に行った各地域での測定や、ご希望のお宅への「出前測定」を行う中でホットスポットの存在を確認、子ども関連施設での詳細測定と基準の設定、除染対応策の早急な確立を求めてきました。

放射線の出前測定

ご希望のお宅へ伺います。

お電話下さい。

中野あきと事務所（上記）

中野あきと携帯

090-5329-7859

短信

初めて放射線量を測定した。放射線計は複雑な操作は不要で、電源スイッチをONにし、しばらく待てば測定できる。平均値で測るので、一定の時間が必要なのだ。紙の上のデータでは実感が湧かないが、計測器がカウントするたびに「ガガッ、ガガッ」と音を発するので、こんなに放射線が飛び交っているのかとびっくりする。特に道路側溝の土が溜まっているところは、急激に音のピッチが上がる。測っている人間の方の緊張も高まり、血圧まで上がってくる感じだ。街のあちこちを測って歩くと、ごく狭い範囲のホットスポットが存在するのがわかる。この辺りが高いかもしれないと予想がつくようになる。▼基準値は、原発による放射線量が年間1ミリシーベルト以下とする考えが多い。これを屋内で過ごす影響を考慮し、毎時に換算すると0.19マイクロシーベルトになる。この値に自然放射線の外部被曝量を加算すると基準値が計算される。▼日野市は毎時0.23マイクロシーベルトを基準値として、これを越えるものは簡易除染と断言している。市民の安全と不安をなくすために、しっかりやってほしいものだ。（H）

豊田駅北口に進出するイオンモール

市内小売業への影響や交通渋滞など、共産党市議団が質問

11月10日、UR（都市再生機構）は、多摩平の森の商業施設街区の土地貸借事業者を「イオンモール株式会社」に決定しました。場所は、豊田駅北口の京王ストア跡地を中心とした地域で、敷地面積約3万1千平米。建物は地上5階、地下1階で、総合スーパー、物販店舗、スポーツクラブ、コンベンションホール（大会議室）などが入り、駐車場は990台。完成は2014年2月の予定となっています。

商業施設の店舗面積は、約1万8千800平米で、市内のスーパーを含む全小売業者の総売場面積の2割を超え、その影響は多摩平地域の商店街はもとより、市内全域に及ぶことが予想されます。

共産党市議団は12月市議会の一般質問で、懸念される市内の小売業への影響や、周辺で予想される交通渋滞の問題などを質しました（詳細は追って報告します）。

パパとママの運動で新園舎が完成

市立たまだいら保育園

市立病院の建設にともない仮園舎で運営されていたまだいら保育園の新園舎が多摩平第一公園（多摩平4-4-2）東側に完成、11月から新園舎に移転しました。定員は130人（1歳児10人、2歳児18人、3歳児30人、4歳児35人、5歳児37人）です。

まだいら保育園は、市の「第三次行革大綱」で、たかはた保育園、とよだ保育園とともに2009年から順次廃止・民営化の計画になっていました。この計画に対して「保護者の意見を聞かない一方的計画は認められない」「待機児童が増えているのに、なぜ廃止・民営化なのか」などの声があがり、保護者は4万名をこえる署名を市議会に提出、200人をこえる街頭パレードを行うなど、かつてない大運動が展開されました。

その結果、市はついに「この3園は、保育需要の増大が見込まれる地域にあるので、当分の間は延期」と、計画の棚上げを発表しました。

誰もが安心できる介護制度を

日野市第5期事業計画について質問します。

「保険あって介護なし」「増え続ける介護難民」「介護労働の劣悪な労働実態」など、いま、介護問題は大変深刻です。

そんな中で来年度から3ヶ年にわたり日野の介護のあり様を左右する、第5期日野市介護保険事業計画の策定作業が行われています。

私は、介護現場で切実に求められている、①高齢者介護利用負担の問題、②老老介護をはじめとした介護者の負担問題、③一人暮らしの高齢者・認知症高齢者の問題について改善を求めつつ「第5期計画」の保険料、介護従事者の処遇、事業計画へ現場・市民の声を反映させる課題について、12月議会で質問・提案を行います。

（くわしくは追って紹介させていただきます。）

中野あきと



住民の方と一緒に放射線を測定する中野市議

◇放射線測定結果◇

南平地域 11月21日 晴れ

単位
マイクロ・ヘクト/時

測定場所（いずれも地上5cm）	測定値
南平丘陵公園入り口 （南平8丁目）	入口階段下 0.110 入口道路脇 0.094
おくまん下公園 （南平8丁目）	公園中央 0.073 入り口側溝上 0.185
くまんどろ公園 （南平8丁目）	ブランコ下 0.107 用水路内・道路から1m下 0.115
掘付公園 （南平8丁目）	公園中央 0.083 石ベンチ上 0.080
田中稲荷 （南平7丁目）	ほこら前 0.131 前の道路側溝 0.220

《2012年1月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
1月12日（木）
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見を
お寄せ下さい。

豊田1～2丁目地域 11月12日 曇り

測定場所（いずれも地上5cm）	測定値
仮称・第一公園	入口 0.089 道路升上 0.109
スーパー南入口	道路升上 0.174
保育園横	路溝 0.319
グループホーム前	道路傍 0.100
仮設住宅前	道路 0.158
二小	北側道路傍 0.217 正門道路傍 0.151
用水	道路傍 0.138
マンション	歩道前 0.082

■使用測定器（HORIBA）PA-1000ラディ線測定器

■実施一中野あきと事務所